

# 製作コンセプト

日常使用するバックにおいては、軽量で機能・デザイン性が求められると思いますが、通勤電車内においてタブレットを使い易くするデスクとなるようなバックが欲しいと思い探しもしましたが、気に入るものが見つからず、自分の好みで自作したのがこのアタッシュケースです。

重いです。持ちにくいです。ですから、バックとしての評価は低いです。



タブレットを左写真のように安定した状態で使用することができますので、タイピングもし易く、誤入力も少なく済みます。携帯画面では、メール内容の確認には、画面スクロールをしなければならないことが多いのですが、タブレット画面では、ほぼ全文が画面内に表示できますので、多くのメール確認もスムーズに行え、返信も楽です。

こういったメリットがあるタブレットの利用性を高めるためのデスク的なバックを求めました。

バックの中には、右写真のように折り畳み傘、パンケース、タブレット、その下に書籍やファイルを収納するだけのスペースしかありません。最低限のツール収納です。

ケースを持つ際は、下の写真のように親指以外の4本指でケースを引っ掛け、親指で押さえるようにして持ちます。握るような持ち方はできません。

